



もりの手紙

mo ri no te ga mi



森にこうよ!
もりメイト倶楽部
Hiroshima

発行・編集

理事長 山本恵由美

広島市中区白島中町12-4

tel. 090-6419-7531

fax. 082-221-1080

e-mail. info@morimate-ch.com

url. http://www.morimate-ch.com

~ NO 272/2020 ~



できる時に
できる事を
力を合わせて

contents

★2月例会案内：16日（日）

「湯来での集材」

“ユネスコ奨励賞受賞”

ふるさと恵下山まもり隊・・・2

★1月恵下山例会報告

：塚本（5班）

.....3

★寄付金の授与：山本

1月里山部会報告：岩田

.....4

★全国都市緑化ひろしまフェア

開催のお知らせ：竹原

1月クラフト部会報告：本廣

.....5

★世界一周旅行記：見勢井

.....6

★広島なぎさ中仕事体験：山本

●ひと枝：イタビカズラ

.....7

★2月・各部の活動予定 他

.....8



「恵下山公園整備」。史跡を守り、子ども達が安心して憩える自然をめざす！P2・3にて報告

私たちも もりづくりを応援しています。

- ◆中外工業株式会社
- ◆あいおいニッセイ同和損保株式会社
- ◆こだまクリニック
- ◆ゆめみらい株式会社
- ◆株式会社ニシナ屋珈琲
- ◆イオングループ
- ◆中国新聞販売店会「ちゅーピーの森」づくり
- ◆湯来町 林クリニック

<協賛企業：順不同：敬称略>



もりメイト倶楽部
Hiroshima

森は私たちの宝もの。未来へ残したい、伝えたい

『もりづくり 私にできることから』をモットーに活動

みんなで森づくり 健康で生き生きした森を育てます。

森を育てる技術を磨く 森づくりを学び、日々実践・研鑽。

森を楽しみ森を味わう 人と森との関わりを広がります。

森から学び森を伝える 森の恵みを活かし利用する活動。

例会

倶楽部のメイン行事（原則第4日曜日）
地域と共に、活動。技術安全研修を実施。

出前間伐

要請により、杉・桧の楠林地の間伐・枝打ち・下刈りなど
手入れを行っています。

里山

雑木林や竹林の整備をはじめ炭焼きやしいたけ栽培など、
里山の恩恵を活かす文化を伝承しています。

クラフト

木を使うことは森を育てること。森のいのちを活かすこと。
間伐材など森の材を利用してベンチ制作や工作を指導。

環境教育研究

もりメイトキッズ等 森林体験教室の企画・実施
森の大切さ、守り方を伝えるリーダーを目指し、研究・実践。



～いにしへの山の仕事を体験しよう part II～

《1班担当》

2月例会案内「^{きんま}木馬 & ポータブルウインチでの集材」

昨年11月の例会にて、木馬を走らす「木馬道」を作りました。今回は引き続き木馬道を利用しての集材を行います。併用してポータブルウインチも使用の予定です。新旧の集材を体験できます。是非ご参加ください。

◆日 時： 2月16日（日）第3日曜です。

10時～15時少雨決行

《天候不良時は23日に延期します。ご協力よろしくお願い致します。》

◆作業場所： 湯来町多田 ※湯来ロッジ9時30集合

◆持参物： 山の道具・水筒・弁当

※「木馬道」の枕木を滑りやすくするため使用済みの油を集めています。用意可能な方はご持参下さい。

◆申込み： 参加者は2月10日（月）までに各班長へ連絡。

※ 例会運営担当1班の方、当日のリーダー担当の方は先に現地でご打ち合わせをします。9時までに湯来ロッジ集合。

※ 新入会員、賛助会員その他参加希望の方は事務局へ電話かメールでご連絡下さい

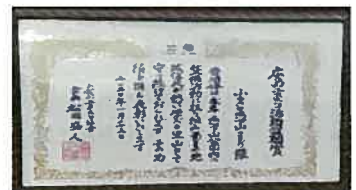
《090 6419 7531 : info@morimate-ch.com》

◆翌月例会案内： 3月22日（日）

～引き続き湯来での集材を予定しています～



ふるさと恵下山まもり隊が「ユネスコ奨励賞」受賞！ ～1月26日地域貢献例会にてお披露目～



広島ユネスコ奨励賞
ふるさと恵下山まもり隊 殿
貴団体は永年恵下山公園内の整備活動に取り組み、子どもや地域住民が憩い里山として守り続けておられます。その功績を讃え表彰いたします。2020 1月25日
広島ユネスコ協会 松岡盛人



『このような名誉な賞をいただいたのは、もりメイト倶楽部の皆様のご協力あっての賜物です。本当にありがとうございました。これからもよろしくお願いいたします。』
ふるさと恵下山守り隊・代表 平井さん



写真上：令和2年初の例会、皆で記念写真。下は代理の見勢井顧問よりトロフィーと賞状を受けとる平井代表。

1月例会報告 「恵下山公園整備」26日(日) in 安佐北区恵下山

参加：倶楽部31名(体験参加4名含む)・地域12名

報告者：塚本 宏志(5班)



■今年初めての例会、前日の天気予報では降水確率70%でしたが、当日は幸運にも雨は降らず絶好の作業日和、この時期にしては暖かな1日でした。

恵下山公園内は、弥生時代の住居遺跡や室町時代の恵下山城跡など、広島県史跡や広いグラウンド、展望台もあり、地元の幼稚園や保育園、小学校の散歩や遠足に利用されています。折しも、この1月26日は『文化財防火デー』である事を、朝のミーティングにて秋武班長より聞かされ、恵下山公園を整備する事の意義を感じました。

■今回は5班が例会担当。A~Dの各4エリアのグループに分かれ、作業に当たりました。全体ミーティングの後はラジオ体操で体をほぐし、グループ毎にミーティングを行い持ち場へGO! 展望台から西に太田川を見下ろす高台や公園内とはいえ、ほとんどが山の急傾斜地。初めに説明のあった切ってはいけない木以外を手鋸で切り、園内整備が主な作業。急斜面で足を踏ん張って固定し木を切るのは、かなり体力も必要。すぐに暑くなり、汗が出ました。

■午後は残りの作業に加え、枯れかけた大木数本を選抜隊がチェーンソーで伐倒! 午後2時半には作業を終え、道具の手入れをした後、倶楽部と地域の皆さん全員で記念写真を撮りました。反省会では各グループのリーダーから一言。どのグループもヒヤリハットもなく安全に作業を終了することができました。

■昼食では“ふるさと恵下山まもり隊”の皆さまによる美味しい「豚汁」がたっぷりと用意され、私も皆も何杯もお代わりを頂きました。

解散後も平井会長が、最後の最後まで見送って下さり、お腹も気持ちも満足の1日でした。すっきりと眺望もよくなった史跡のある恵下山公園に訪れた人が綺麗に整備された公園だと思って頂けたら幸いです。

■私はもりメイトに入会し2年目(もりメイト養成講座の第22期生)、年間行事もメンバーも大分わかってきました。恵下山公園の例会は毎年参加したい例会の1つになりました。



報告者:5班 塚本さん



- ①原田孝二さんのお仲間・4名のゲスト新人紹介。
- ②秋武班長「この木は伐ってはダメせ〜ん」。
- ③作業前に行うグループ毎のミーティング。
- ④・⑤急斜面での作業、ちょっと休憩。おやつを差し入れを頂く。
- ⑥階段斜面。上の稜線から「お〜い!」と叫ぶと姿が見えるように、低木を伐る。
- ⑦・⑧美味しい、楽しい昼ごはん。
- ⑨伐倒隊のお二人。どう倒そうか相談中
- ⑩道具の手入れは念入りに。
- ⑪終わりのミーティング。事故やケガなく無事終了。



広島支店 業務推進マネージャー担当部長 國松睦平様より

あいおいニッセイ同和損保様から、今年度もご寄付をいただきました。

保険契約者に「eco 保険証券・WEB 約款」を選択肢として提案され、紙や印刷などを節約して環境への負荷を軽減。その節約資金を基に社会貢献活動を行う団体に寄付をして、さらに環境保全等を推進させる取組みを創られています。今年度もご支援を賜り、恐悦至極でございます。今回は「森の啓発事業」において、材の有効活用に係るクラフト材料製作の機材の購入に充てたいと思います。感謝

山本理事長 記



ご協力をお願いします！！

使用済みのインクカートリッジ、(キャノン・エプソン) とベルマークを集めています。例会、部会時に班長、部会長へお渡しください。「あいおいニッセイ同和損保」を通じて被災地の学校支援に役立てられています。

報告



里山部会 1月12日(日) in 小川 F 2班：岩田幸信



学生薪割り「せ～の ヨイヨ！」

市内から、小川フィールドに足早に向かう途中、あちらこちらで、とんど祭りの用意をしているのを横目で見ながら、小川フィールドに到着。新年の1番乗りを目指していましたが、小迫さんに取られてしまい、2番手は佐藤さん、そして私でした(残念)。

さて、当日の作業ですが、小川フィールドでは秋に1度、落ち葉かきをしています。思いの外、今年は落ち葉が多く枯葉で車がスリップして駐車場が上がれない車が出るほどだったので、落ち葉かき・椎茸の収穫・害獣駆除用ネットに木が持たれかけたものを除伐・チェーンソー製材に分かれ取り掛かりました。

今回は修道大生2名が参加し、一緒に落ち葉をかき、椎茸の収穫や竹炭製作用の竹の運搬を行いました。さらに見勢井顧問指導の下、木の切り方や斧での薪割りなど精力的に活動し、倶楽部員の活性化に大いに貢献して頂きました。

落ち葉かきは後で話を聞くと、学生は大量の落ち葉に『今日は落ち葉かきで終わるのか』とちょっと心配したそうです(そんなことはさせません)。また、佐渡さんから、米ぬかの提供があり、上手く肥料(カブトムシの寝床)ができる事でしょう。



落ち葉かきの後、明野さんが強力プロアーで残った枯葉を吹き飛ばし綺麗になりましたが、椎茸のホダ場内の枯葉まで綺麗に吹き飛ばしてしまい、後から見勢井顧問に『あれでは、椎茸のホダ場が乾燥してしまい湿気が全部逃げる』との助言を頂きました。

椎茸の収穫は松村さん指導の下で収穫し倶楽部員にお買い上げ頂きました。売り上げは、椎茸の駒菌購入に充てる予定です。害獣駆除用ネット際の除伐は、1本1本確実に作業を進め、チェーンソー製材は、材を引上げ集材、製材まで行いました。今回里山部会初参加の藤原康祐さん(5班)は、『こんなに色々な作業を体験できるとは思っていませんでした。また是非参加したい』との事、もちろんいつでも大歓迎！



強力プロアーで枯れ葉を飛ばす。シイタケのホダ場は湿度を保つ落ち葉が必要。

里山部会お楽しみの昼食は、北田ご夫婦の提供で、鏡開きに因み、餅入りぜんざいと食後のコーヒーを頂きました。午後からは、各持ち場の仕上げをして終了。学生からは『森林の整備を体験する中で様々な知識を得ることができてとても楽しかった』『実際にやって見るとのは良い経験になった』と感想を頂きました。最後に、明野さんから、大きな大根をお土産に頂きました。次回は、2月9日、小川フィールドで開催します。作業は、害獣駆除ネット近くの除伐・チェーンソー製材・フィールド内のメイン道路の整備等を行う予定です。奮ってご参加下さい。今回の参加人数は19名(大学生2名含む)

もりメイト倶楽部も参加！「第 37 回全国都市緑化ひろしまフェア」

ひろしま はなのわ 2020

開催期間：3.19～11.23



「全国都市緑化フェア」は、緑の大切さを理解し、一人一人が緑を守って、
 緑がもたらす快適で豊かな暮らしがある街づくりを進めるために、
 毎年、全国各地で開催される花と緑の祭典です。
 今回で 37 回目を迎える全国都市緑化フェアは、
 全国で初めて県内の自治体すべてが主催者となって開催し、
 花と緑をはじめとした魅力ある地域資源で皆さんを“おもてなし”します。
 実施するメイン会場は、中央公園（旧広島市民球場跡地を中心とする区域）及びその周辺。

木工クラフトを中心にワークショップを実施。部材作りにご協力を！はなのわボランティアも募集中

- ・我々倶楽部へは、第 37 回全国都市緑化ひろしまフェア実行委員会事務局（広島市都市整備局緑化推進部緑政課全国都市緑化フェア推進係）からイベントの依頼があり、木工クラフト工作を中心としたワークショップを実施することになりました。
 - ・指定された場所は、旧広島市民球場隣のハノーバー庭園北側の「森のガーデン」内でテントを張って行います。
 - ・実施日は、3月21日（土）、3月29日（日）、4月11日（土）、4月25日（土）、5月9日（土）、5月17日（日）の6日間を実施し、開催時間は10：00～16：30を目度に行います。
 - ・どのような工作材料を準備するかまだ決まっていませんが、2月から材料集めと材料づくりに入っていきます。5月3日～5日のフラワーフェスティバルも間に入りますので、クラフト部会としては大変忙しくなります。
 - ・クラフト部会は、毎週金曜日かまたは土曜日に集まって作業を行っていますが、2月、3月で手の空いた方がおられましたら、是非とも参加していただければ助かります。尚、はなのわボランティア募集をしております。応募される方 <https://hananowa2020.com> 検索してみてください。また、もりメイト倶楽部木工クラフト実施日に於いても、今後スタッフの募集を呼びかけていきます。是非ご協力下さい。
- 《 副理事長 竹原 弘 記 》

報告

1月クラフト部会

部会長：本廣 良一

春の気配か、1月というのに雪も降らず穏やかな日が続いています、山茶花や雪中花とも言われる水仙が咲き鮮やかな赤黄色で元気づけてくれます。

今月は倉庫の整理片付け、棚づくり、解体した足場パイプ



新作考案中の磯貝、富安さん



材料切り出し中の末本さん



（4m、3m）をもらい受け鹿ヶ谷倉庫に運搬、木置き場の組み立てを開始しました。奥にしまっていた機械工具や積み重ねた材料を片付けし、見違えるようにきれいになりました。

今年は広島市で第 37 回全国都市緑化フェアが3月から開催されるなどクラフト部会も忙しい年を迎えています、竹を活用した作品など皆さまのアイデアと多数の参加をお待ちしています。今月の活動参加者 21 名

木置き場パイプを組み立て中の本廣、原島さん



～世界一周旅行記～

= 前編 =



『地球って広いですね』

顧問 見勢井 誠

個人的な旅なので会報掲載の依頼を断りましたが、人生の過ごし方の参考にとの話を受け、僭越ながら3か月間の「ピースボート世界一周の旅」をしたためることにしました。

初めての長距離クルーズは2014年11月の第86回。見ず知らずの方達との4人部屋で神戸港を出港し105日間の南半球1周の船旅に出ました。マレーシア～モーリシャス～南アフリカ～南アメリカ～イースター島～タヒチ～を回るコースでした。就職して永年働き続け、もりメイト倶楽部にも永年関わり70歳で一つの区切りをつけるため1人で乗

船しました。当時は倶楽部の代表をしており倶楽部の事を3ヶ月も放置して乗船することは気が引けたのですが、このクルーズの紹介者でもある当時の山本副理事長からは「人生は一度きりです。どうぞ行って楽しんでください。後は私がしますから・・・」と気持ちよく送り出してもらい、南半球の旅に行きました。

自然豊かな各国を周り、最初は何もかも珍しくて着岸・離岸する度にデッキに出て各国の様子をカメラに納めていました。マダガスカルではカメレオンなど手に触れるほど近くで見たり、南アフリカのクルーガー国立公園では

象などを間近に見て自然を堪能しました。マチュピチュ遺跡は説明を受けても何故そこに？と理解できませんでしたが素晴らしいものでした。ソロモン諸島ではこんな山の中にどのようにしてここへ運んできたのだろうかという大きな大砲が設置されていましたが1度も使われることなく終戦を迎えたとのこと。ガダルカナルでの戦場跡を見聞して第2次世界大戦で日本の軍国主義の指導者のため、いかに無駄な戦争をしていたのか・・・と色々と考えさせられる旅でもありました。

(3月号・後編へと続く)

PEACE BOAT ピースボートとは？

～日本と世界をつなぐ架け橋～

ピースボート(英語: Peace Boat)は、国際交流を目的として設立された日本の非政府組織(NGO)、もしくは、その団体が主催している船舶旅行の名称。設立当初はアジアをめぐるクルーズの運営を主体としていたが、1990年以降は世界各地をめぐる「地球一周の船旅」を繰り返し行っている。

これまでも「みんなが主役で船を出す」を合い言葉に、好奇心と行動力いっぱいの老若男女が世界各地を訪れ、様々な国や地域に暮らす人々と直接顔の見える交流を行っている。

ピースボートがめざすもの、それは船旅を通じて、国と国との利害関係とはちがった草の根のつながりを創り、地球市民の一人として、平和の文化を築いていくこと。

ピースボートHP公式サイト参照



写真はピースボートHP他より

若い世代への森林教育の種まき

～「広島なぎさ中学校3年生」林業体験～

理事長 山本恵由美

高学力で有名な『広島なぎさ中学校』は「自ら学ぶ」「自ら創る」姿勢を大切にしています。人間力の育成を教育目標の一つとして3年生は仕事体験を行っています。前身の広島工業大学の付属校の「広島高等学校」時代からの縁で、数年前からこの授業を受け持っています。

林業体験は未知の世界。好奇心の強い生徒には倶楽部の提供するプログラムは人気があり、自然の中でノコや斧を使う仕事や薪で火を起し食事を作るなど、重労働を体感しながら森の有用性を思索する。数時間が経った頃には動き方にも変化が生まれ、都会っ子が遅く成

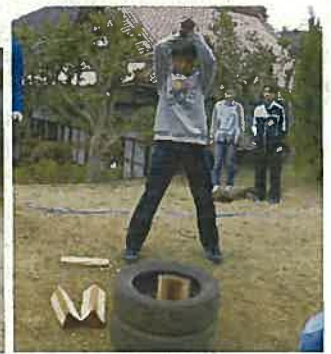
長していく姿を認識し合います。最後の感想では、「森は自分とは関わりが無いものと思っていたが、人が関わらないとダメだということが分かった」「重労働に耐えながら大事な自然を守る人がいることを知ることが出来た。」また、「林業の仕事は大変で、いつか役立つ機械などの開発をしたい！」そして「楽しかった！これからも時間をつくり森林体験をやりたい」と頼もしい言葉。未来に続く感受性豊かな若い世代への森林教育の種まきを今後も展開したいと思います！



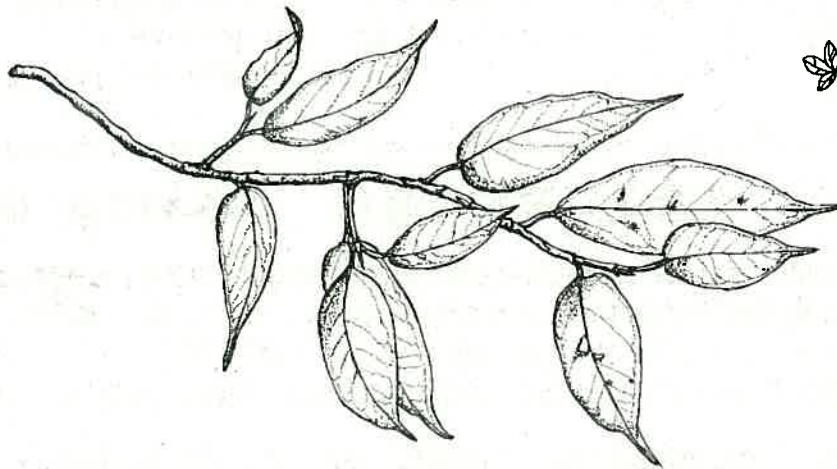
シイタケの菌打ち



薪で昼食づくり



薪割り体験



今アヒの枝

原田 澄



イタピカズラ（崖石榴）＜クワ科・イチジク属＞

山地の林内や林縁に生える常緑のつる性木本。東北南部から沖縄の暖温帯に自生。気根を出して分岐し、岩や木の幹に張り付いてよじ登る。雌雄異株で葉は互生につき長さ6～12㎝、葉先は長く伸びて尖り全縁で厚い革質。6～7月に花が咲き秋に直径1㎝程の黒紫色の実を結ぶ。イタビというのはイヌビワを意味する古語で、イヌビワのような実を付けるかざらという意味を持つ、野生のイチジクの仲間。イチジク同様に枝や葉を折ると白い乳液が出る。近似種にオオイタビ、ヒメイタビがある。・・・▼「湯の山温泉」入り口に立つ桜の古木。苔むしたその幹に絡むイタピカズラ。どちらも年季が入り風格が漂う。周りにもマキやタラヨウなど歴史を感じさせる樹々たちが。▼誰もが体感してるだろう今年の暖冬。冬らしい凛とした寒さが恋しいと思うのは欲なのか。裸木の枝先はと見れば、薄っすらヴェールを纏まとったような小豆色。色のとぼしい季節だが目を凝らせば、訪れようとする春の色がそこここに。

～佐伯区湯来町 2020・2～

-2月- 活動の予定

クラフト 部会

- 【ゆうゆう】：中区白島
 ■2月8日(土)
 ~皆様の参加お待ちしております~
 【材料づくり】：安佐南区山本町鹿ヶ谷
 ■2月8日(土)、15日(土)、22日(土)、
 29日(土)
 ■連絡先：本廣 090-4141-8603

里山部会

- 日時：2月9日(日)9時~
 ■場所：「小川フィールド」
 安佐北区白木町中三田地区
 ■作業：害獣駆除ネット近くの
 除伐・チェーンソー製材・フィールド
 内のメイン道路の整備等
 ■持参品：水筒・山の道具 他
 ■連絡先：岩田 080-5751-3798

間伐部会

2月度出前間伐部会は
 休会と致します。

環研 部会

3月2日(月)18:30~20:30
 袋町交流プラザ 3階にて
 来年度の『もりメイトキッズ』
 を中心に打合せを行います。
 ~環境教育に関心のある方など、
 どなたでも気楽にご参加を!~

◎会報を郵送からEメールでの受信へ変更する方を募集しています!

EメールでのPDF会報は、カラー版で写真等が鮮やかで、かつ、印刷代・郵送料の節約になりますので、ご協力下さい。【申込み方法】事務局 info@morimate-ch.com までEメール

3月号の会報発送作業は
 下記の通り、実施します。

日時：3月4日(水)
 18:30~20:00
 場所：市民交流プラザ3F
 (袋町小学校隣り)

もりの手紙原稿は
 こちらのアドレスへ。

tegami@morimate-ch.com

＝倶楽部のホームページ編集委員募集＝

先月1月号の3ページにおいて紙版の会報誌の印刷発送作業風景などを詳しくお知らせしたところです。

倶楽部では、これからもこの会報も発行しつつ、スマホ全盛の時代ですので、若い世代の方により広く活動内容を知っていただくために、ホームページの充実を図りたいと考えています。

については、ホームページの作成・編集を手伝ってくださる方を募集していますので、下記まで電話、又はメールで連絡お待ちしております!

【電話】090-6419-7531

【Email】info@morimate-ch.com



会員 & ご寄付の募集



もりメイト倶楽部 Hiroshima は、「森の再生と自然保護を図る市民の森づくり活動」の先頭に立って人工林の間伐や都市公園の除伐整備など地域の人と一緒に活動を展開しています。また、会員への技術研修や安全講習会などを開催する他、山で採れた木材を利用したクラフトの作成指導なども行っています。私たちの活動に共感、賛同して頂ける方のご寄付または会員として活動して頂ける方を募集しています。

会員の種類

- 【正会員】：倶楽部の目的に賛同して積極的に活動するために入会した個人及び団体。
 【賛助会員】：倶楽部の事業を応援するために入会した個人及び団体。

年会費

- 【個人会費】：3,000円
 【企業会費】：50,000円

会費・ご寄付の振込先

【広島銀行 白島支店】(普) 3283383
 【ゆうちょ銀行】15170-18029291
 《口座名：特定非営利活動法人もりメイト倶楽部 Hiroshima》

お申込み方法

下記まで電話、又はメールで
 【電話】090-6419-7531
 【Email】info@morimate-ch.com